

令和元年度 第1回 生駒市生活支援体制整備協議体
会議録

開催日時	令和元年11月20日(水) 午後3時10分～午後4時00分
開催場所	生駒メディカルセンター研修室
参加者 (委員)	澤井委員、高取委員、萩原委員、小川委員、嶋司委員、林委員、日野委員、中尾委員、平本委員、藤尾委員、藤田委員、北原委員、川端委員、古東委員、田口委員、吉田委員、世古委員、大窪委員、辻本委員
事務局	影林福祉健康部長、田中福祉健康部次長、後藤地域包括ケア推進課課長、渋谷地域包括ケア推進課主幹、澤辺地域包括ケア推進課係長、桐谷地域包括ケア推進課係員
傍聴	なし
案件	(1) 第2層生活支援コーディネーターについて (2) 生活支援を中心とした住民主体活動の創出に向けて
資料	資料1 生活支援を中心とした住民主体活動の創出に向けて
議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
事務局	1 開会 2 案件 案件(1) 第2層生活支援コーディネーターについて (各コーディネーターより、業務内容の説明、紹介)
事務局	案件(2) 生活支援を中心とした住民主体活動の創出に向けて (資料1に基づき説明)
座長	第2層生活支援コーディネーターから、現在までの活動や地域の特性などの報告があったが、地域包括支援センターとして、現場でどのような声を聞いているか。
委員	圏域内でも地域性は異なるが、買い物に関することや地域で活動する男性が少ないことなどが課題として挙げられている。農地や空き家の問題もある。また、専門職の人員が減っているので、今後問題が発生した場合に、連携す

委員	<p>ることが難しくなる可能性も感じている。</p> <p>圏域の特徴として、傾斜が厳しい地区が多いため、買い物や外出の問題が発生している。また、サロンの後継者不足の問題もある。</p>
委員	<p>地域の声として、老人会の参加者減少が課題である。老人会の活動について十分に認知されていない可能性がある。</p>
委員	<p>駅前という地域性や生活保護受給者が多いこともあり、地縁のつながりが薄い人が多いと感じている。高齢になり外出の機会が減ると、地域から分断される方が多い。早めに地域とのつながりを作ることが必要である。</p>
委員	<p>他包括と同様、外出と後継者に関する課題がある。介護保険サービスでは対応できない地域の困りごとも多く聞かれている。例えば、ゴミ当番の対応や自治会館の清掃など、年齢とともに対応できなくなる人がいる。こういった介護保険で対応できない地域の課題について、住民同士で助け合いができればよいと思う。</p>
委員	<p>介護保険を利用する手前の段階の方で、生活への困りごとを抱えている方がいる。コミュニティバス等インフラの関係で不便を感じている人も多く、買い物については移動スーパーが頻繁に利用されている。また、住民の支えあいに関する組織ができていない地域もある。</p>
委員	<p>老人クラブは見守り活動（友愛活動）を平成2年ごろから実施している。ここ数年、組織として活動していくための取り組みをしている。まずは会員の意識改革のため、サロンリーダーやいこいこサポーター等の養成講座を実施している。今後は地域内でどのように活動していくかが課題。地域ではやる気を持っている方は多いと感じている。</p> <p>行政との連携もあり、いきいき100歳体操は広まった。いきいき百歳体操からサロン活動へ展開していることも感じている。こういった活動を継続していくことやリーダーを育てることなども重要になる。</p> <p>老人クラブ連合会としては、地域包括支援センターと更に連携し、綿密な意見交換を続けたいと思う。可能であれば、包括支援センターから老人クラブに対して、実施したい事や検討している活動内容などの提案がほしい。老人クラブとして、出来る範囲で手伝いたいを何をしたらよいかわからない状態である。</p> <p>生活支援に関して、鹿ノ台では老人クラブ以外の団体とも意見交換の場を持つよう努めている。サロンへの移動支援など、各種課題を解決しながら進めたいと思う。また、継続できる活動にするため、有償・無償等を含めて検討してほしい。</p> <p>地域包括支援センターや民生委員、自治会等含めて地域の困りごとを知っている方は多くいる。各地域で意見交換を行い、勉強会などを通して具体的な対応方法を検討していきたい。住民主体の生活支援は、モデル地区で実施し地域差等も考慮しながら市内に波及させたい。</p>

座長	<p>住民主体の活動を推進するためには、明確にテーマを決めることが必要だと思う。また、活動の拠点になる場所も重要であり、コーディネーターの仕事に派拠点探しも含まれるように感じる。</p>
委員	<p>生活支援コーディネーターの動きや地域ケア会議などを市民がどれだけ知っているのか。</p>
事務局	<p>地域づくりなどを通じて実施している。今後も継続して周知する。他市町村ではコミュニティーケースワーカーと共に地域づくりをしているところもある。生駒市では都市計画課や市民活動推進課と連携して、町ぐるみの推進会議として実施している。地域ケア会議については個人情報も含まれるため、民生委員等と連携することもある。</p> <p>3 閉会</p>